

みんなの

がっこうのどうぶつ

第11号 2015年6月上旬



印刷はA4横

公益社団法人 栃木県獣医師会  
Tōchigi Veterinary Medical Association

公益社団法人 栃木県獣医師会  
学校飼育動物委員会

〒320-0032 栃木県宇都宮市昭和1-1-23  
☎ 0286(22)7793 Fax0286(21)9660

[栃木県獣医師会 学校飼育動物委員会](#)

## ウサギのエサが生い茂っている

学校を見回してみてください。クローバーやタンポポ、シバ草、ヒエなど、ウサギが好む草がいっぱいです。その草をウサギのエサ用に集めることは、草の勉強にもなりますし、自然観察の勉強にもなります。

子供さんたちは、発見と驚き、愛情を感じながら、ウサギのために草を集めてくれることでしょう。

食べさせて良い草に関する情報は獣医師会ホームページ中、参考資料[危険な野草安全な野草](#)、ニュースレター[資料特集号「夏草編」](#)をご参照ください。



ウサギのエサとしてクローバーを集めてくれていた子供さんが、四つ葉を見つけ、誇らしげに見せてくれました。(五つ葉を見つけた子供さんもいました。)

## Topics



間中校長先生(小山第三小学校)

## 生き物と積極的に関わる

小山第三小学校は、一昨年の冬まで、ヤギを飼育していました。間中校長先生は教務時代にヤギのメイちゃんに関わっておられたそうで、5年ぶりの再会を楽しみに戻って来られたそうですが、残念ながら亡くなってしまいました。(約15歳でした。)

飼育小屋にはウサギが4羽いましたが、今年度は1羽に減ってしまったことから、下野市の小学校からウサギを譲り受け、繁殖を試みています。ウサギの出産を楽しみにされていました。(取材:鈴木成幸)

## 根拠に基づく動物飼育

### 方法-2

#### ● 室外飼育

##### 【利点】

- ・(身体的もしくは、精神的な)動物アレルギーの子供さんに対する配慮がしやすい
- ・学校中の子供さんに接する機会がある
- ・飼育委員会の役割が明確
- ・(土間式では)本来の習性の観察ができる
- ・人間の行動による動物のストレスが少ない
- ・十分な広さで飼育することができる
- ・教室内が学習の場として維持できる
- ・教室内を衛生的に維持できる
- ・出産を経験することができる
- ・ニワトリやチャボの飼育に適している

##### 【欠点】

- ・子供達との距離が近くないことがある
- ・愛着が生まれにくい
- ・特定の子供(飼育委員)しか接しない
- ・ウサギが穴に居て姿を見せない
- ・健康状態に目が行き届きにくい
- ・飼育舎を新しく建てるのに費用が必要
- ・不衛生になりやすい
- ・飼育舎の老朽化に伴い修理費が必要
- ・雌雄を別にしないと繁殖してしまう
- ・気候の影響により衰弱することがある
- ・外部から侵入(動物、人)されることがある

## 欠点を補う

最近では、より効果的な飼育方法として室内飼育(若しくは、教室内飼育)が注目されていますが、今までの飼育形態を維持する理由や、現実的な諸問題を理由として、室外飼育を選択されることが多いです。

### 距離を縮める工夫

いかにして子供達と動物の距離を縮めるかが大切です。距離には、実測的な距離と心の距離の二つの距離が存在します。

**実測的な距離**は、子供たちが多く時間を過ごす場所と飼育舎の距離をいいます。一年生、二年生の教室の窓から、すぐ見える近くに飼育舎がある小学校もあります。



教室からすぐ近くにある飼育舎(佐野市)

**心の距離**は、子供たちが動物をどれほど身近に感じているかの距離をいいます。ふれあいデーなどのイベントを催したり、飼育委員会新聞、お昼の校内放送を利用した飼育委員会の番組などで動物を身近に感じてもらう工夫をしている小学校もあります。



### Free Space

- ・ウサギを飼ってくださる小学校さん、ご連絡をください。
- ・鳩を飼ってくださる小学校さん、連絡をください。
- ・ウサギが増えて困っている小学校さん、連絡をください。

ご連絡は、栃木県獣医師会事務局まで

☎ 0286(22)7793

Fax0286(21)9660



ウサギを…

ハトを…

もらってください！

愛情を育てて  
みませんか！

栃木県獣医師会事務局

☎ 028-622-7793